

経済指標ウォッチャー

米ISM景況感指数1月 製造業と非製造業で景況感が二極化

利上げの影響はモノからサービスへ、今後は非製造業の景況感も悪化か

ISM景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）が製造業・非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国企業の景況感を示す指標のひとつ。製造業が毎月第1営業日、非製造業が毎月第3営業日に公表される。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

製造業・非製造業で景況感が二極化

全米供給管理協会(ISM)が1日に発表した、1月の製造業景況感指数は47.4（市場予想：48.0）となりました。好不況の節目となる50を3ヵ月連続で割り込み、2020年5月以来およそ2年8ヵ月ぶりの低水準となっています。一方、3日発表の1月の非製造業景況感指数は55.2（市場予想：50.5）と、前月から大幅に上昇しました（図表1）。サプライチェーンの混乱は解消したものの、景気後退懸念から国内外で需要が低迷しており、新規受注が大幅に減少したことが、製造業の景況感の悪化につながったとみられます。一方、非製造業は、賃金上昇を背景に個人消費がモノから宿泊や飲食などのサービスに移行しつつあることや、新年に入り、新規顧客による受注が増加したことなどが、景況感の大幅改善の要因となったとみられます。

製造業では18業種中、木材製品や繊維、紙製品、家具などの15業種が業況の悪化を報告し、非製造業では18業種中、農業や公益事業などの10業種が業況の拡大を報告しています。

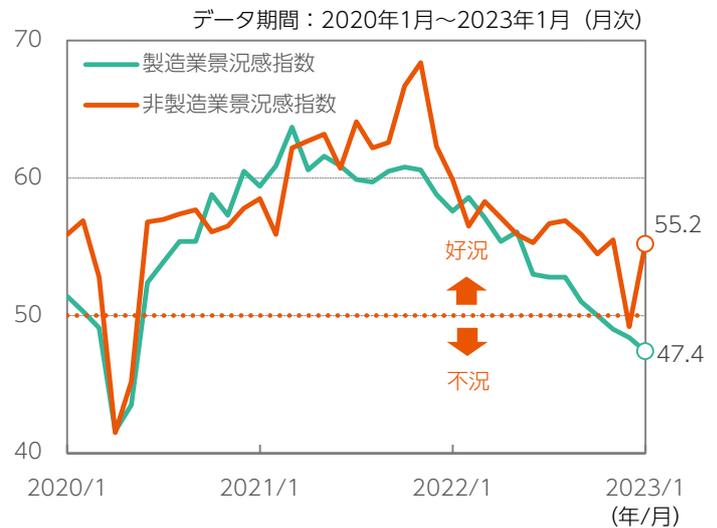
利上げの影響は今後モノからサービスへ波及か

製造業景況感指数を構成する指数のうち『新規受注』の低迷が続いています。1月は42.5と、好況・不況の節目となる50を5ヵ月連続で下回っています（図表2）。一方、非製造業は前月から大幅回復し60.4となり、製造業、非製造業で二極化しています。

米連邦準備制度理事会（FRB）の大幅な利上げによる個人消費への影響は、モノからサービスへと、幅広い分野に波及していくことが予想されます。コロナ禍からの景気回復にともないこれまで総じて好調であった非製造業の景況感も、今後は、製造業に遅れて悪化する可能性もありそうです。

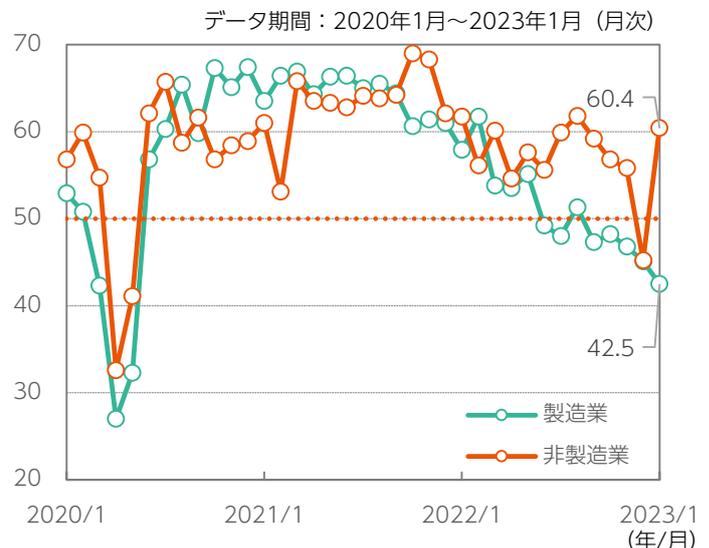
出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

図表1：景況感指数は製造業は低下、非製造業は上昇



※ISM製造業・非製造業景況感指数の推移

図表2：製造業の新規受注は減少傾向



※ISM製造業・非製造業景況感指数の構成指数（新規受注）の推移

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>